

ごみの減量と資源化トピックス

掲載号	掲載内容
4月15日号	リサイクルマークについて
5月15日号	30・10（さんまる・いちまる）運動について
6月15日号	雑がみについて
7月15日号	雑がみと禁忌品について
9月15日号	分別について
11月15日号	小型家電の無料回収について
12月1日号	食品ロスについて
12月15日号	ごみ処理経費について
2月15日号	エコ包装、買い物ごみについて
3月15日号	ごみの内訳について

低炭素社会推進トピックス

掲載号	掲載内容
10月15日号	グリーン購入について

募集記事

掲載号	掲載内容
3月15日号	簡易生ごみ処理とその活動募集について

ごみの減量と資源化トピックス

30・10（さんまる・いちまる）運動を知っていますか

新年度を迎えた4月は、歓送迎会など、会食や宴席の機会が多かったのではないのでしょうか。宴席などの飲み会の席では、楽しい歓談に花が咲き、心と気付けば、出された料理に手が付けられていないまま、残してしまっていたということはありませんか。

「30・10運動」とは、宴席の最初（乾杯の後）30分と終わり（お開きの前）10分は、自席について料理を食べる時間を持ちましょうという、食べ残しを減らすための運動です。

この取り組みは、平成23年に長野県松本市から始まり、食品ロスを削減するための周知・啓発に活用されています。

食品ロスとは、まだ食べられるのに捨てられてしまった食べ物のことです。その量は、平成26年度の環境省および農林水産省の推計によると、全国で

年間621万トンにのぼります。これには、外食産業を含む食品関連事業者から出る食べ残しや売れ残りのほか、一般家庭から出る食べ残しや過剰に除去された調理くず、期限切れなどで手付かずのまま直接廃棄されたものが含まれます。

宴席でのちょっとした心がけが、ごみの減量に役立ちます。食べられるものを無駄にしないために、会食や宴席を楽しみながら食品ロスを削減することにつながる「30・10」を呼びかけてみませんか。

問い合わせ先 圃生活環境課 ☎30-6116、FAX27-0395



**ママの減量と資源化トピックス**  
正しくごみの分別ができていますか？

市では、ごみの分別を17種類に区分しています。

- 燃やすごみ ○埋立ごみ
- 粗大ごみ ○小型家電
- 容器包装プラスチック
- ペットボトル ○びん類
- 缶・金属類 ○古紙・衣類
- 使用済乾電池
- 使用済蛍光灯等 ○廃食用油

この17種類の中で、「ごみ」と呼んでいるもの以外は、「資源」として扱われます。燃やすごみ、埋立ごみ、粗大ごみについては、皆さんから出された後、選別して「資源化」されています。

「ごみの分別」とは、単純にごみを分けることではなく、リサイクルの原料として再び利用できるように分別を行うことです。

皆さんは、正しく分別ができていますか。

▼食品などで汚れた容器やペットボトル  
汚れた容器包装プラスチックは、容器包装プラスチックではなく、燃やすごみとして出してください。また、ペットボトルは、キャップとラベルのみが容器包装プラスチックです。

▼薬品や化粧品類のびん  
埋立ごみとして出してください。リサイクルできるびん類は、飲食用のびん類です。

▼硬いプラスチック製品  
園プッシュやハンガー、おもちゃなどは、埋立ごみとして出してください。容器包装プラスチックとしてごみに出せるのは、マークの付いたものです。

▼より一層のリサイクル推進のために、正しく分別にご協力ください。

問い合わせ先 圃生活環境課 ☎30-6116 番、FAX27-0395 番

広報ひこね 2017 年 9 月 15 日号

広報ひこね 2017 年 5 月 15 日号

ごみの減量と資源化トピックス

リサイクルできる紙を捨てていませんか

日常生活の中で多く排出される紙ごみ。ごみとしてしまうか、資源として生かすかは、私たち自身が分別するかどうかで変わります。

いわゆる古紙として回収されるものには、新聞紙、雑誌、ダンボール、飲料用の紙パックがありますが、このほかに雑紙といわれるものがあります。例えば、包装紙、紙袋、封筒、はがき、カレンダー、紙製ファイル、ノート、菓子の空き箱、トイレットペーパーの芯などです。

この中に、燃やすごみとして捨てていたものはありませんか。お菓子や日用品の箱などには、マークなど、資源化の目印となるものもあります。もし捨てているものがあれば、気付いたときから少しずつ分別にご協力ください。

ただし、防水加工など特殊な加工や匂いのついた

紙などは、リサイクルできない「禁忌品」と呼ばれています。禁忌品はリサイクルの妨げとなるので、資源としてではなく、燃やすごみとして出してください。雑紙の出し方については、市の行う行政回収では、雑誌の束やダンボールに挟んでいただき、集積所に出していただくことで回収を行っています。

集団回収でも、同様に回収をしていただくことができますが、回収する事業者によって収集方法が異なる場合がありますので、事前に各事業者へご確認ください。また、スーパーマーケットやドラッグストアなどの店舗での回収で、雑紙の回収を行っているところもあります。詳しくは各店舗の案内をご覧ください。

資源として活用できるものはできる限り生かし、ごみの減量につなげていきましょう。

問い合わせ先 圃生活環境課 ☎30-6116、FAX27-0395



**低炭素社会推進トピックス**  
グリーン購入

私たちの生活で発生する二酸化炭素の量を少なくするためには、環境にやさしい行動を心がけることが重要です。

今回は、普段の買い物で実践できる二酸化炭素の排出を抑える取り組みを紹介いたします。

**グリーン購入**  
買いたいものとき、まず買いたい製品が必要かどうかを判断し、必要な場合は環境のことを考え、環境負荷が低く、小さいものを購入することです。

低炭素社会の実現にもグリーン購入が重要です。グリーン購入はごみの減量と資源化にもつながります。

**必要が考える**  
買いたいものに本当に必要かどうか、買った量を減らすことができないかを考えることが大切です。

**環境のことを考えて作られたものを選ぶ**  
季節外れのハウス栽培や遠くから運ばれる農産物はエネルギーを削減するため、旬や地域の食材を選びましょう。

**買物の際は、徒歩、自転車、公共交通機関などで移動することで、移動にかかるエネルギーを削減することができます。**

**長く使えるものを選ぶ**  
形の調節や中身のアップグレードができる省エネ型のもは二酸化炭素の排出を抑えることができます。長い目で見て環境にやさしい製品を選ぶことが大切です。

**ごみが少なくなるものを選ぶ**  
ごみを処理する際、エネルギーを使い、二酸化炭素を発生させます。ペンやのりなどの文具、シャンプーンやリンスなどは、詰め替えられるものを選ぶと、環境負荷の削減につながります。

問い合わせ先 圃生活環境課 ☎30-6116 番、FAX27-0395 番

広報ひこね 2017 年 10 月 15 日号

ママの減量と資源化トピックス

リサイクルできる紙？できない紙？

前回（広報ひこね6月15日号）は、リサイクルできる紙の一つとして「雑紙類」を紹介しましたが、異物の混入が多いことも課題の一つです。リサイクルで紙類の品質を維持することは重要です。

今回は、マークが付いていてもリサイクルに不向きな紙を紹介いたします。

■匂いのついた紙  
洗剤や石けん、線香などの包装箱などです。古紙処理の工程で完全に匂いを取ることはできません。

■食品のついた紙  
ピザやケーキなど食品を直接包装した箱などです。食品が付着して汚れた紙は、洗浄工程でもじゅうぶんに汚れを取り除くことができません。

■防水加工された紙  
紙コップや紙皿、紙製カップの容器などです。紙をリサイクルするには水に溶かす必要がありますが、防水加工された紙は、水に溶かせません。

■アルミ箱のついた紙  
お酒の紙パックなど内側が銀色になっている「アルミコーティングされた紙パック」です。リサイクルの工程で、紙ではない成分をじゅうぶんに取り除くことができません。

■そのほか  
▼ラミネートなどの感熱紙や、宅配便の振写伝票などのカーボン紙、特殊なインクが完全に取れないため、リサイクルできません。

▼ティッシュ箱の取出し口のビニール部分や窓枠封筒の窓部分などは、紙のリサイクルに向かない素材が含まれます（ただし、その部分を取り除けば、リサイクルができます）。

リサイクルを円滑に進めるためには、リサイクルに不向きな紙は燃やすごみに捨てましょう。

問い合わせ先 圃生活環境課 ☎30-6116 番、FAX27-0395 番

**「ごみの減量と資源化トピックス」**  
知っていますか「リサイクルマーク」

リサイクルマーク（リサイクル識別表示マーク）は、資源の有効な利用の促進に関する法律（リサイクル法）で対象となる製品に表示が義務付けられています。

製品がごみとなった時に分別し、資源として排出する際の目印となるように表示されています。

今回はリサイクルマークの中でも代表的なものを紹介し、リサイクルマークを参考に、正しい分別を実践しましょう。

①アルミ缶マーク アルミ缶を示すリサイクルマークで、アルミでできています。

②ステール缶マーク スチール缶を示すリサイクルマークで、スチール（鉄）でできた飲料用容器に表示されています。

③ペットボトルマーク ペットボトルを示すマークで、ポリエチレンテレフタレートでできたものや醤油などが入っている容器（ペットボトル）に表示されています。

④プラスチック製容器包装マーク 彦根市のごみの分別で言う「容器包装プラスチック」を示しているマークで、プラスチックでできた容器やパッケージに表示されています。

⑤紙マーク 紙でできた包装資材やパッケージなどを示すマークで、お菓子や日用品の箱などに表示されています。このマークが付いた空き箱などは、ダンボールと合わせて縛って出すことで、資源としてリサイクルすることができます。

問い合わせ先 圃生活環境課 ☎30-6116 番、FAX27-0395 番

広報ひこね 2017 年 4 月 15 日号



### ごみの減量と資源化トピックス

#### ごみの内訳

市のごみ等排出量は、平成25年度以降は減少しており、同28年度は1人1日当たり895グラムとなりましたが、県内の他市町に比べて多い状況が続いています。

今年度は、ごみの分別状況や「食品ロス」の実態を把握し、ごみの減量対策に役立てるため、家庭からどのようなごみが燃やすごみとして出されているのか調べました。

ごみを12種類に分けたところ、水分を含む重さで約4割が生ごみ、次に多いのは容器包装プラスチックや雑がみ類（お菓子の空き箱など）でした。

さらに、生ごみを6種類に分けると、「調理くず」に次いで多いのは「食べ残し」と「未利用食品」（期限切れを含む）で、4割以上を占めていました。食べ残しや未利用食品は、本来、食べられるのに捨てられている食品ロスです。



調査結果から、容器包装プラスチックや雑

がみ類のように、適切に分別することによって減らせるごみや、食品ロスのような「もったいない」ごみが多く含まれていることが分かりました。

燃やすごみとして出しているごみの中には、ごまめな分別や心がけにより、減らすことができるごみがあります。

例えば、分別するとき、食品などの汚れが付いた容器包装プラスチック類は燃やすごみに出すこともできますが、水洗いすることで、容器包装プラスチックとして資源化することができます。また、雑がみ類は、雑誌などと同じようにリサイクルできます。

ごみの発生を抑えるためには、買い過ぎて余ってしまう食材や、食べ残しを減らすことも大切です。一人ひとりのごみの分け方・出し方が、ごみを増やすことにも減らすことにもつながるため、ごみ減量へのご協力をお願いします。

問い合わせ先 園生活環境課 ☎ 30-6116、FAX27-0395

広報ひこね 2017年3月15日号

### ごみの減量と資源化トピックス

#### 1人1日あたりのごみ排出量とごみ処理経費

	平成27年度	平成28年度
年間のごみ総排出量	39,892トン	36,877トン
市民1人1日あたりのごみ排出量	967グラム	895グラム
リサイクル率	15.6%	16.9%
ごみ処理経費(年間)	約14億5千万円	約14億7千万円

平成28年度の市のごみ排出量は、平成27年度と比較して減少しています。1人1日あたりのごみ排出量(年間のごみ排出量を1年間の日数と総人口の人口で割ったもの)は、895グラムとなりましたが、滋賀県内の他市町よりも多い状況が続いています。

園清掃センターのごみ焼却場などの各施設は、毎年補修や整備を実施するなど、機能低下や処理能力低下を最小限に抑えるよう取り組んでいます。そのため、現在の施設を安定して稼働していくために必要な経費(修繕費など)が増加しており、ごみ処理経費は、増加傾向にあります。今年度、燃やすごみに含まれるごみの組成を調査したところ、リサイクルできる「紙類」や、食べる「生ごみ(食品ロス)」が多く捨てられていることが分かりました。このような「もったいない」ごみを減らすことで、彦根市のごみはまだ減らすことができます。ごみを減らすことは、ごみ処理施設を安定的に使うことにもつながります。皆さんのご協力をお願いします。

広報ひこね 2017年12月15日号

### 地域で生ごみを堆肥化しよう！ 簡易生ごみ処理 普及事業の新規団体と 活動団体への参加

平成28年度に園清掃センターへ搬入された燃やすごみの量は約3万トンで、そのうち約6割が「生ごみ」です。生ごみは約9割が水分で、燃やすごみの減量には、生ごみを水切りし、乾燥させてから排出する方法が効果的です。市内では、複数の団体が生ごみを資源として有効利用する処理方法(簡易生ごみ処理)で野菜つくりなどに活用する活動を行ってまいります。市では、この活動を支援しており、新たに参画いただける団体や、既に活動されている団体への参加を募集します。

- ▼「ボカシ(※)」の原料を購入・製作し、會員にボカシを配布 など
- ※ボカシ 米ぬかやもみ殻に、有用な微生物などを混ぜて発酵させたもの。生ごみの発酵を促します。
- 対象 市内で活動する、市内在住の構成員が5人以上の団体
- 募集期間 3月15日(木)～同30日(金)
- 申込・問い合わせ先 園生活環境課 ☎ 30-6116番、FAX27-0395番



広報ひこね 2018年3月15日号

### ごみの減量と資源化トピックス

#### 買ひ物ごみを減らすために

ものを贈るときには、少しでも喜んでもらいたいという気持ちや、失礼に当たらないようにとの配慮を、包装や装飾で表すことがあります。きれいに整えて贈られたものにも、もちろん側も嬉しさが伝わるものではないでしょうか。

私たちが周りのさまざまな商品を考えてみると、一つ一つが個包装され、それ全体を入れた袋が箱に入っていて、さらに包装されている、というように、何重にも包装されているものがあります。家に帰ってすぐに使用するものなどは、簡易包装された商品や包装を用いない商品を選択しましょう。



広報ひこね 2018年2月15日号

### ごみの減量と資源化トピックス

#### 小型家電を無料で回収しています

粗大ごみとして回収していた小型家電は、原材料に有用な金属が多く含まれていることから、市では小型家電リサイクル法に基づき、平成26年4月から分別回収を開始しています。

小型家電とは、最も長い一辺の長さが1メートル未満の、電源コンセントにつなぐ家庭用電化製品のものをいいます。

分別回収が進むことで、有用な金属の回収が進み、最終処分量の削減にもつながります。小型家電のリサイクルにご協力をお願いします。



▼小型家電の主な例  
ファンヒーター、扇風機、炊飯器、トースター、アイロン、ミシン、電子レンジ、オーブン、トースター、ホットプレート、電気ポット、電気ひげそり、電話、デジタルカメラ(※)、ビデオカメラ(※)、ビデオデッキ(※)、ビデオカメラ、プリンター、ゲーム機 など

※1 データは削除してください。  
※2 携帯電話は、販売店購入した店がわからな

問い合わせ先 園生活環境課 ☎ 30-6116番、FAX27-0395番

広報ひこね 2017年11月15日号

### ごみの減量と資源化トピックス

#### もったいない・食品ロス

食品ロスは、まだ食べられるのに捨てられてしまう食品のことです。これまでの市の調査結果から、家庭から出たごみの約30%が生ごみで、そのうち約半分は食べ残しや賞味期限切れなど、食品ロスであることがわかりました。

食品ロスを減らすことは、ごみを出さないことにつながります。もったいないという気持ちを大切に、1人ひとりができることに取り組みましょう。



- ▶まずは食べ残さない  
食べ物に感謝して残さず食べるなど、おいしく食べ切りましょう。
- ▶使い切れる、食べ切れる量で  
買ひ物の前に、冷蔵庫を確認しましょう。普段から冷蔵庫の整理や食品の保存場所を目立つ場所にすることで、同じものを買ったり、使い忘れたりすることが防げます。

食材は、必要なものを必要な量だけ買いましょう。特に生鮮品は、こまめに買って保存することで食品ロスを減らせます。また、調理は必要な分で行い、皮を薄く剥いたり、切り落とす部分を減らしたりすることで、無駄なく使い切ることを心がけましょう。

また、残ってしまった食材や料理を他の料理にアレンジすることも、食品ロスを減らす1つの方法です。

限は、期限を過ぎたら食べないほうがよい一方、賞味期限は期限を過ぎてもすぐに食べられなくなるわけではありません。

#### おいしく残さず食べよう！

- 忘年会や新年会シーズンを迎え、宴席の機会が多くなるのではないのでしょうか。「食べ物を残さずなんてもったいない！」と思いながらも、宴席では、お酒を注ぎに回ったり、歓談したり、食べ残しが多くなってしまいます。
- 食品ロスを減らすために、おいしく残さず食べきましょう。
- ▶適量注文を心がけましょう。
- ▶宴席の最初(乾杯の後)30分と宴席の終わり(お開きの前)10分は、自席で料理を食べましょう。
- ▶料理が多く残っているテーブルから、少ないテーブルへ料理を分けましょう。
- ▶「食べ残しのないように」とみんなで声をかけましょう。



問い合わせ先 園生活環境課 ☎ 30-6116、FAX27-0395

広報ひこね 2017年12月1日号

食品ロスについて考えよう!

食品ロスって? まだ食べられるのに捨てられてしまう食品の事です。

食べ残し

過剰除去

手つかず食品(期限切れなど)



日本では、1年間に約621万トンの食品ロスが発生していると言われています。これは、1人1日当たり134グラム捨てていることになります。

※環境省および農林水産省の平成26年度推計値

彦根市では・・・

平成29年度において、家庭からどのようなごみが出されているかを調べています。家庭から出される燃やすごみのうち、水分を含まず重さで、約3割が生ごみで、一番多くなっています。

次に生ごみの内訳を見てみましょう。生ごみのうち、半分は「調理くず」ですが、次に多いものは「食べ残し」と「手つかず食品」です。「手つかず食品」の中には「期限切れ」で捨てられているものもあります。

「調理くず」や「食品外の生ごみ(茶殻、コーヒー殻など)」を除くと、生ごみとして出されるもののうち、半分近く(47パーセント)は、まだ食べられるのに捨てられているもの可能性があります。

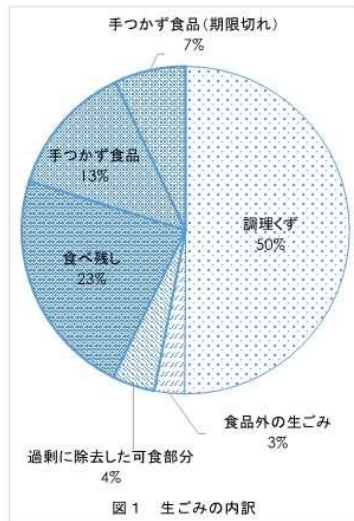


図1 生ごみの内訳

食品ロスを減らすために・・・1人1人できることから始めてみよう!

まずは、おいしく食べることから!

- 食べ物に感謝して残さず食べよう。
- 自分が食べきれない量を見つけよう。
- 食べきれないときは、家族で分け合って食べよう。



「買いすぎた」、「買い置きしてた」

同じものを買って使い切れないということはありませんか?

- 買い物の前には、冷蔵庫や家の中にあるものを確認しましょう。
- 普段から冷蔵庫などの食品の保存場所を整理しましょう。
- 食品の保存場所を自立つ場所に変わらしてみよう。

使いきりを心がけて!

- 買い物は、必要なものを必要な量だけ買きましょう。
- 食材は、必要な分だけ調理し、できるだけ使いきりましょう。
- 賞味期限や消費期限の近い食材から食べましょう。
- 皮を薄く剥いたり、切り落としている部分を減らしたりしてしまおう。
- 残ってしまった食材や食べきれなかった分は、ほかの料理にアレンジしてしまおう。



期限表示に注目

すぐに捨てていませんか? 「賞味期限」

- 賞味期限は、おいしく食べることができる期限です。比較的保存がきく食品に記載されています。期限を過ぎててもすぐに食べられなくなるわけではありません。

- 消費期限は、期限を過ぎたら食べないほうがよい期限です。傷みやすい食品に記載されています。

ただし、一度開封したものは、期限表示にかかわらず、早めに食べましょう。

食品ロスを  
減らすために

歓送迎会は

おいしく残さず  
食べきろう！

さんまる ・ いちまる

30・10 運動

- ❁ 宴席の開始(乾杯の後)30分、  
終了(お開きの前)10分は、  
席に着いて、料理を食べる時間を持ちましょう
- ❁ 適量注文を心がけましょう
- ❁ 食べ残しのないように  
みんなで声かけをしましょう
- ❁ 料理が多く残っているところから少ないところへ  
食べきれないときは、仲間で分け合いましょう

生活環境課ごみ減量・資源化推進室

直通：30-6116 内線：185、128